

1 シリンダの分解・再組立

シリンダは清浄な場所で分解・組付けする必要があります。きれいなウェスなどを敷き行ってください。

分解の際には、チューブカバーの二面取り部分を万力などではさみ、ヘッドカバーの二面取り部分にスパナやモンキー等と掛けてゆるめ、ヘッドカバーを取り外してください。再度締めつける時は、分解前の位置より2°位増締めてください。

2 パッキンの取外しについて

① ロッドパッキン

使用工具: 精密ドライバーなど

カバーの前側から図1のように精密ドライバーなどを差し込み抜取ります。

この時、カバーのパッキン溝に傷をつけないよう注意してください。

② ピストンパッキン

まずピストンパッキンまわりのグリースを拭取ってください。取り出しやすくなります。

ピストンパッキン溝は深いため、精密ドライバーではなく、図2のようにピストン周囲の一方から包んで、押し出すようにして浮き出たところを引き抜きます。

③ チューブガスケット

精密ドライバーなどで抜取ります。

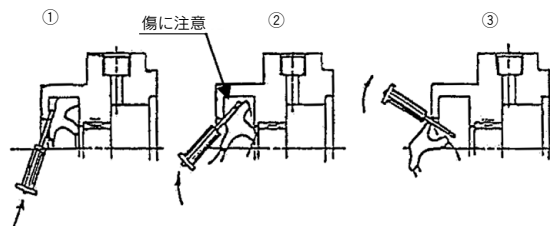


図1 ロッドパッキン取り外し方法

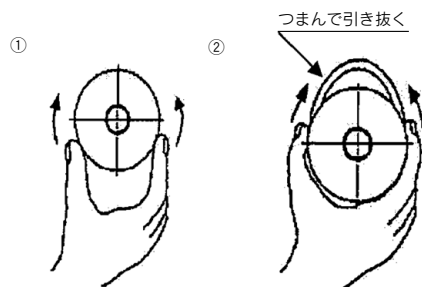


図2 ピストンパッキン取り外し方法

3 グリースの塗布について

① ロッドパッキン

交換用新パッキンには薄くて良いですから外周にグリースを塗布してください。これは、カバーへ装着しやすくなるためおよびカバーとの密着をよくするためです。また、溝部にはグリースを充填してください。これは作動用として必要です。(図3)

② ピストンパッキン

グリースをパッキンの外内周にまんべんなく薄く塗布してください。ピストンへ装着しやすくなるためです。

③ チューブガスケット

グリースを薄く塗布してください。シリンダ組付の際には脱落防止になります。

④ シリンダ各部品

シリンダの各部品には図4の各部分にグリースを塗布します。

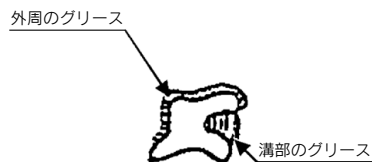


図3

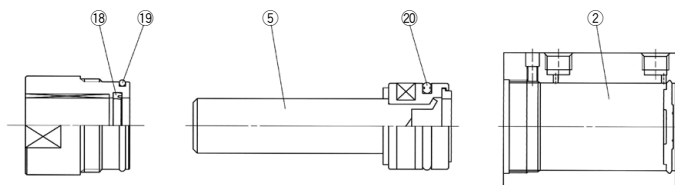


図4 グリース塗布位置

アクチュエータ

モジュラコネクタ
圧力制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラコネクタ
圧力制御機器

工業用フィルタ

4 パッキンの装着について

① ロッドパッキン

パッキン方向を間違えないように装着します。このあと図5のようにグリースをパッキンとブッシュ内周全面にわたって塗布します。また小口径の場合には、精密ドライバーなどを使って塗布してください。

② ピストンパッキン

パッキン装着後、図6のようにグリースをすり込む要領でパッキン溝内部と外周に塗布してください。

③ チューブガスケット

カバーに装着します。

以上、組み付けが終わりましたら手でスムーズに動くことを確認してください。

さらに、パッキン漏れの有無を確認すれば完了です。

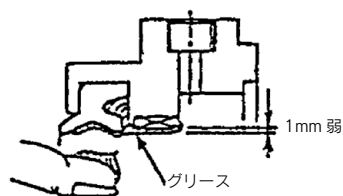


図5 ロッドパッキン

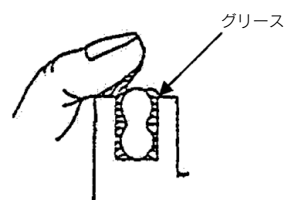


図6 ピストンパッキン

5 ショックアブソーバ交換方法

① ショックアブソーバを交換する場合は、ピストンロッド部の六角穴付止めねじ(M3)を緩め(目安:一回転程度)、レバーを倒してください。(図7参照)

使用工具:六角レンチ 対辺1.5mm

交換部品: ショックアブソーバ

チューブ内径	手配番号
32	RB1007-X225
40・50	RB1407-X552

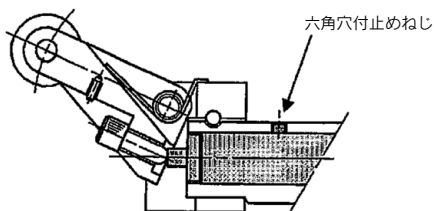
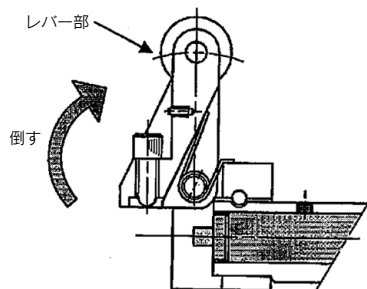


図7



② レバー部を倒した状態で、ショックアブソーバを外し、新品のショックアブソーバと交換します。

再度ピストンロッド部の六角穴付止めねじ(M3×0.5)を締めます。(図8参照)

止めねじが突き当たってから、1/4回転を目安とってください。

締め過ぎた場合、六角穴付止めねじの破損、ショックアブソーバが作動不良になる可能性があります。

締付トルク:0.29N・m

使用工具:六角レンチ 対辺1.5mm

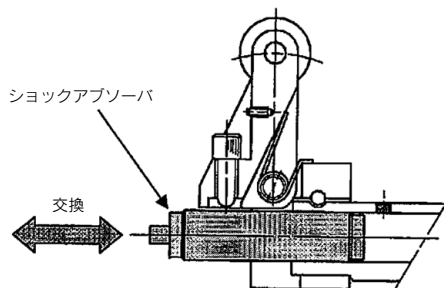


図8